

NHO 心理療法士協議会作成・階層別 達成目標 (2019.11.08 初版)

本表は、国立病院機構（NHO）内の心理療法士に求められるスキルを明記したものである。心理療法士においては、自身を振り返り、スキルアップに向けた研鑽を積むための指針にしてもらいたい。また、施設内および施設間において指導すべき項目としての活用や、国立病院機構内でのスキルアップ研修におけるテーマとしての活用が望まれる。

本表で明記したスキルは7領域に分類されている。領域（1）社会人・組織の一員としての態度、（2）チーム医療・連携は、NHO で働く全ての心理療法士に求められるスキルである。領域（3）心理アセスメント、（4）心理支援は、心理療法士の専門性に関わるスキルである。領域（5）臨床研究・教育研修、（6）災害時・緊急時対応、（7）職員のメンタルヘルス支援は、所属機関および自身が請け負う業務によって求められる度合いが異なることに留意してもらいたい。

各領域のスキルは3段階に分類し、達成目標と目標を達成するために必要な事項を明記した。初級は心理療法士としての役割を果たす上で必要最低限のレベルであり、入職後（あるいは当該業務を担当後）1年間での達成が望まれる。中級は心理療法士の専門性を発揮し業務が遂行できるレベルであり、当該業務を担当後の3年間での達成を目標とする。上級はリーダーシップを発揮し心理療法士を指導できるレベルであり、NHO での経験10年を目安に達成が期待される。

	初級：経験1年目		中級（中堅職員）：経験3年以上		上級（指導者レベル）：経験10年以上	
	達成目標	病院組織の一員として業務にあたること ができる	達成目標	中堅職員として課題の理解と集団維持の推進 を行うことができる	達成目標	リーダーシップをもって組織に貢献できる
(1) 社会人・ 組織の一 員として の態度	目標を達成するために必要な事項	1. 社会人の基本スキルを身につける ・適切な言葉遣い、接遇 ・時間管理、物品管理、体調管理 ・上司への報告、連絡、相談 2. NHO の役割と今後の方針を知る ・臨床、教育、研究の3機能 ・地域医療 ・独立行政法人としての経営方針 3. 所属組織と自身の役割を理解する ・地域における役割と機能 ・自部署の役割と機能 ・自身の役割と業務	目標を達成するために必要な事項	1. 社会人の基本スキルを指導できる ・後輩の模範となる行動をとる ・社会人の基本スキルを伝達する ・後輩の指導者として機能する 2. NHO の役割の一部を担う ・適切な臨床業務を提供する ・人材育成の教育に協力する ・研究業務に協力する 3. 所属組織の役割を担う ・経営の方針と現状を把握する ・自部署の機能を維持する ・後輩の業務を調整、指導する	目標を達成するために必要な事項	1. 社会人の文化を維持する ・指導者を育てる ・社会文化の変化に対応する 2. NHO の組織を活性化する ・他施設との情報交換 ・地区ブロックでの役割を果たす 3. 所属組織を活性化する ・病院経営への貢献案を提案する ・所属部署をまとめる ・心理部門をまとめる

		4. 医療人の基本スキルを身につける ・医療倫理の基本原則 ・医療用語、関連法規の理解 ・患者情報の管理 ・安全管理（感染管理や医療安全） ・診療報酬制度の基礎知識 ・医療制度と職員配置		4. 医療を担う人材として機能する ・医療倫理を実践する ・安全管理に積極的に取り組む ・医療用語、関連法規を使いこなす		4. 医療文化を活性化する ・医療倫理を指導する ・安全管理の質を高める ・新たな知見を取り入れ紹介する ・職員配置への提案 ・地域において教育や情報提供活動を行う
(2) チーム医療・連携	達成目標	多職種連携を行いながら円滑に業務を進めることができる	達成目標	チーム医療の中で心理支援の提案・推進ができる	達成目標	多職種チームの中でリーダーシップを発揮し、指導的役割をとることができる
	目標を達成するために必要な事項	1. 他職種の役割と専門性を知る ・医療職、福祉職の役割と専門性 ・事務職の役割と専門性 ・医療制度と職員配置 2. 心理療法士の役割を理解する。 ・心理療法士としての専門的な役割 ・他職種と協働する補完的役割 3. チーム医療に参画する ・積極的な情報収集と情報提供 ・チームの方針にそった業務実施 ・適切な記録実施と管理	目標を達成するために必要な事項	1. 他職種との良好な関係を作る ・他職種の業務の貢献を理解する ・他職種の限界を理解する ・職種間の調整役を果たす 2. 心理療法士の役割を提案する ・心理アセスメントを提案する ・心理支援を提案する 3. チーム医療に貢献する ・適切な協働に向けた意思疎通 ・他職種の役割への提案 ・他職種の役割のモニタリング ・チームとしての機能を評価する ・患者との調整役を果たす	目標を達成するために必要な事項	1. 他職種の教育に協力する ・他職種への研修を企画・実施 2. 心理療法士の役割を伝える ・心理職への研修を企画・実施 3. チーム医療の維持に貢献する ・コンサルテーションを行う ・機能不全チームの支援を行う

(3) 心理アセスメント	達成目標	指導を受けながら心理アセスメントを実施、所見を作成できる	達成目標	心理アセスメントを踏まえて支援計画の作成と伝達ができる	達成目標	心理アセスメントを指導できる
	目標を達成するために必要な事項	1. 検査法を実施できる ・検査目的に合った検査を選択する ・患者とラポールを形成し実施する ・手順に沿って確実に実施する ・目的に合った報告書を作成する 2. 面接法/観察法を実施できる ・面接の目的を説明し、情報収集する(予診、評価面接、フォローアップ) ・情報を適切に記録する ・報告書を適切に作成する 3. トリアージを理解する ¹ ・リスク評価²の基準を理解している ・重症度に応じて、中止できる ・適切な部署への報告ができる	目標を達成するために必要な事項	1. 検査法を活用できる ・必要な検査を医師に提案する ・検査結果を適切な形で伝える(医療者、当事者、関係機関) ・結果に基づく支援を立案する 2. 面接法/観察法を活用できる ・適切な面接の構造を作る ・効果的な面接と観察を実施する ・情報を適切な階層で記録する³ 3. トリアージを指導する ・リスク評価の基準を指導できる ・早期のサインを察知できる ・緊急時の対応方法を指導できる	目標を達成するために必要な事項	1. 検査法を指導できる ・後輩・部下を指導する ・指導者を育てる ・自施設の実績状況を集約・把握する ・必要な検査を施設に導入する 2. 面接法/観察法を指導できる ・後輩・部下を指導する ・他職種へのコンサルテーション ・チーム医療の状況を評価する 3. トリアージの質を高めることができる ・リスク評価の基準を更新する ・緊急時の対応方法を更新する ・教育体制を構築する

¹ トリアージは、緊急対応が必要な状況で、優先順位の選別を行うことである。特に、他の職員や機関、家族や関係者などへの連絡や対応が必要となる状況においては、適切な基準と根拠をもって判断し行動できることが求められる。

² リスク評価の主な標的は自傷、他害、虐待、ハラスメントが想定される。問題のリスク評価と対応は、心理的な配慮を行いつつ、法的な枠組みと、各施設における基準に則って行う。

³ 記録のルールはいくつかある(逐語記録、SOAP、DAR など)が、必要な情報を適切な枠に分類し記録することが初級の到達目標となる。中級になると、概念レベルを揃えたり、適切な見出しを作るなど、読み手に十分に伝わるような記録が目標となる。

*なお記録の書き方については、まだ研究が不足しており、NHO 内で議論し、洗練させていきたい。

(4) 心理支援	達成目標	指導を受けながら心理面接・集団プログラム等の心理支援を実践できる	達成目標	施設・患者の状況に合わせた心理支援を実践・運営し、専門領域を身につける	達成目標	心理支援の専門領域を拡大できる
	目標を達成するために必要な事項	1. 心理面接を実施する ・対象に合った方法を理解している ・必要な支援を適切に開始できる ・受容、共感が実践できる ・必要な手順に沿った面接ができる ・実施記録を作成することができる 2. 集団プログラムを実施する ・プログラムの原理を理解している ・集団力動の原理を理解している ・集団に対して意思伝達ができる ・実施記録を行い、他職種に伝達する	目標を達成するために必要な事項	1. 心理面接を効果的に実施する ・必要な面接技法を患者に適用する ・患者が効果を実感する面接を行う ・他職種に面接の効果を説明できる ・所属部署の専門家として機能する 2. 集団プログラムを効果的に実施する ・プログラムの実施状況を集約・把握 ・必要なプログラム修正を行う ・困難な患者にも適用できる ・必要なプログラムを提案できる ・実施プログラムの専門家となる	目標を達成するために必要な事項	1. 心理面接を指導する ・必要な心理面接を指導できる ・所属施設における実績を集約・把握する ・管理者に実施状況を説明できる ・必要な教育体制を整える 2. 集団プログラムを応用する ・プログラムの普及教育を行う ・専門領域を他の領域に応用する
(5) 臨床研究・教育研修	達成目標	新たな知見を集めて業務に役立てることができる	達成目標	研究の視点をもって業務を行うことができる	達成目標	施設の役割に応じて臨床研究・教育研修を推進できる
	目標を達成するために必要な事項	1. 臨床研究に携わる ・必要な文献に触れ、理解する ・学会に参加し、伝達講習を行う ・自施設の臨床研究に協力する ・研究倫理を理解する 2. 教育研修に参加する ・研修に参加し、スキルを高める ・教育研修の補助を行う	目標を達成するために必要な事項	1. 臨床研究を実践する ・臨床疑問を研究課題に置き換える ・研究計画を立て、実行する ・研究成果を学会・論文で発表する ・臨床実践に研究成果を活かす 2. 教育研修に携わる ・研修に継続参加し、スキルを磨く・ ・院内での研修で講師を行う ・心理実習生の指導を行う	目標を達成するために必要な事項	1. 臨床研究を推進する ・研究に必要な環境を整える ・継続した研究を実施する ・多施設共同研究に協力する ・研究協力者のネットワークを作る 2. 教育研修に貢献する ・所属施設の教育計画に貢献する ・他施設での研修で講師を行う ・地域での教育研修に協力する

(6) 災害時・緊急時対応	達成目標	災害時・緊急時対応を知る	達成目標	災害時・緊急時の支援ができる	達成目標	災害時・緊急時の支援を組み立てることができる
	目標を達成するために必要な事項	1. 災害時・緊急時対応の概要を理解する ・被災した場合の所属施設の対応（災害対策マニュアルの理解） ・支援する場合の所属施設の対応（緊急時の呼び出し基準など）	目標を達成するために必要な事項	1. 災害時対応の役割を学ぶ ・災害派遣精神科医療チーム（DPAT） ・被災者の心のケア ・支援者の心のケア 2. 緊急時対応の役割を学ぶ ・医療事故（自死など）後のケア ・トラウマ体験（暴力など）後のケア	目標を達成するために必要な事項	1. 災害時・緊急時対応の体制を整える ・心理業務のバックアップ体制 ・他施設との連携、情報交換 2. 緊急時対応の体制を整える ・院内での支援体制 ・自施設職員のストレスケア
(7) 職員のメンタルヘルス支援	達成目標	メンタルヘルス支援について知る	達成目標	メンタルヘルス支援ができる	達成目標	メンタルヘルス支援体制の強化・推進できる
	目標を達成するために必要な事項	1. メンタルヘルス支援に必要な知識を理解する ・施設の「心の健康づくり計画」を理解する	目標を達成するために必要な事項	1. 職員からの相談に対応できる ・本人からの個別相談 ・上司・同僚からの相談 ・適切な職員との連携 2. 教育研修に携わる ・院内研修（一般職員向け）の講師を行う	目標を達成するために必要な事項	1. 職員のメンタルヘルス支援ができる組織をつくる ・心の健康づくり計画の改善案を提案する ・職場環境改善に参加する ・院内研修（管理職向け）を企画する